

地域協同基金の発展にご協力ください

コロナ危機から各事業所経営を支えるため、健康友の会員のみなさまに地域協同基金の増額へのご協力をよろしくお願いいたします。

各事業所、健康友の会事務局で受付けています。

# 明るい医療

第 120 号

2021年10月10日

発行人 社会医療法人 新潟勤労者医療協会  
五十嵐 修  
発行所 社会医療法人 新潟勤労者医療協会  
〒956-0814 新潟市秋葉区東金沢1459番地1  
編集部 TEL. 0250 (25) 1877  
毎月10日発行



新津総支部の仲間増やし月間は9月22日から下越病院の外來で友の会コーナー(写真下)を設置、友の会の役員が外來待ちの方へ声をかけます。患者・利用者の方には予め郵便でお知らせもしています。

加入の案内や基金の増額、健康チャレンジの申し込みを呼びかけています。ご協力ください。

『友の会コーナー』開始  
新津 総支部

## 「継続を力に」仲間ふやし月間スタート



「継続を力」に会員を増やすよう努力したいと発言。最後に、同じテーブルの人同士が向き合い握りこぶしで肘をぶつけ、決意を固めました。

### 月間スタート集会を開催

白山舟江沼垂総支部

9月15日、白山舟江沼垂総支部では秋の仲間ふやし月間を迎え、スタート集会を開催しました。

地域で暮らす住民の高齢化、そして新型コロナウイルス禍の中、友の会の「まちづくり運動は1人ひとりの仲間が手をつなぐことから始まる」の視点から、「健康チャレンジ」の参加者を増やす活動を軸にとりくみます。桜井総支部長の励ましの挨拶に続き、野本事務局長より3目標の8割達成を目指す行動提起がありました。

討論では湊、稲荷、栄、とよてる、ふなえ、関屋、沼垂の7支部から率直な悩みも交え発言がありました。

湊支部の宮島支部長からはコロナ禍で訪問活動が厳しい中、2か月に一度定期で開催している「おしゃべり会」の参加者の中から保健学校に夫婦で受講者が現れ、とても喜んでいきます。



健康チャレンジのポスターを各支部で地域にはり出したり、「内野まちづくりセンター」や、スーパーにもはり出してもらいました。「明るい医療」にも折込、診療所の待合コーナーにも健康チャレコーナー(写真)を作りました。

みんなで健康づくり!  
月間の3課題の一つ協同基金増額は各支部でまず運

営委員から増額しようなどの取り組みが始まっています。また、今月から12月まで基金増額期間として「郵便振り込み用紙」の機関紙折込みもはじまります。

健康友の会・総支部連絡先	
新津総支部	TEL 0250-22-6851 新潟市秋葉区東金沢1459番地1
白山舟江沼垂総支部	TEL 025-224-6105 新潟市中央区入船3-3629-1
沼垂事務所	TEL 025-248-8486
ときわ総支部	TEL 025-226-6565 新潟市東区空港西1-15-17
坂井輪総支部	TEL 025-269-6682 新潟市西区寺尾東3-1-19

## 新潟勤医協の事業所紹介⑤



入舟スタッフ会議

### 介護老人保健施設 入舟

当施設がある新潟市下(しも)町は港町として栄えた地域で、長屋などがあり風情を感じられます。「となり近所は親戚のようなもの」と人情味溢れる町でもあります。

入舟は2008年に病院からの転換型介護老人保健施設(以下老健)として開所し、2、3階フロア89床で運営しています。

老健施設は生活施設ではなくリハビリ等を提供する「在宅支援・在宅復帰のための施設」と定義されています。

入舟・看護介護管理士長 阿部 浩典

これからも入舟は「地域に根差した施設」を目標に努力し、ご利用者やご家族が楽しみを持ち、充実した生活を送ることが出来るよう取り組んでいきたいと思っています。